

事業所名

児童発達支援ひだまり

支援プログラム

作成日

2025 年

1 月

25 日

法人（事業所）理念		子どもの主体性を大切にし、根拠を持った支援を行うことで豊かなコミュニケーションを育みます。					
支援方針		子どもの発達レベルに合わせ、会話や遊びの主導権を子どもに持たせることで、子どもが自分からやりとりできる力を育て、コミュニケーションを楽しむことができるように援助していきます。また、言語コミュニケーションの土台となる認知・運動面へのアプローチも併せて行うことで、わかること、できることを着実に増やしていきます。					
営業時間		8 時	30 分	17 時	30 分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	身体の活動を通して自己の認識を高められるよう支援していきます。自分の体や心を意識することで行動や気持ちのコントロールができ、健康的な生活を送ることに繋がっていきます。					
	運動・感覚	登る、運ぶ、引っ張る等の身体に負荷のかかる運動から今自分が運動をしているという感覚(運動主体感)を高めることで自己の認識を高めます。自己を認識することは他者の理解、物の理解、食べること、発音等色々な力の土台となります。粗大運動、協調運動、微細運動、(固有覚、前庭覚、触覚等を主とする)感覚遊び等それぞれに必要な感覚運動遊びを行い援助します。					
	認知・行動	手指による物の探索行動から形態の認知、はしご渡りやロープネット上り、トンネルなどの移動行動から空間の認知を促し、物の操作や遊びを理解する力、文字や数等の学習の土台となる力を育てます。物や外部環境を適切に認識することでそれに対する適切な行動ができるように援助します。					
	言語 コミュニケーション	形態の認知や道具の操作、身体操作から名詞や動詞などのことばの理解育て、順序立ての活動から文法操作の力を育てます。ことばだけでなくPECSカードを用いる等個々に合った伝達手段を習得し伝わったという経験を重ねることで伝達意欲も育てていきます。また、しりとりや音の数の課題のような音韻操作や構音動作の訓練も行うことで明瞭な発音へと繋げていきます。					
	人間関係 社会性	ミラリングやモニタリング(子どもの行動や発声、ことばの模倣をしてみかかわること)を行うことで子どもが自己の行動と他者の行動が関連していることに気づけるようかかわり他者への意識を育てます。また、好きな遊びを大人と共有する中でコミュニケーション意欲を育み他者に適切に主張したり応じたりする力を育てます。会話期の子どもには口頭指示による他者の操作(すいか割りゲーム等)の経験や、他者とタイミングや力、距離をはかって取り組む遊び(風船運び等)を通して自己と他者の異同に気づくことで人間関係の基礎となる力を育てます。					
家族支援		家族が安心して子育てを行うことができるよう、保護者の不安や日々の困りごとについて相談できる機会を定期的に(それぞれに必要な頻度で)設け、適切なかかわり方をお伝えする等解決につながる方法を一緒に考え助言していきます。			移行支援		子どもの評価とそれに伴い園や学校で考えられる行動とその支援方法について保護者へ情報提供をします。保護者の希望があれば移行先と直接連絡を取り子どもの状況について情報を共有する場合があります。また、特別支援学級、特別支援学校、通級指導教室などの情報提供を行い就学について一緒に考えます。
地域支援・地域連携		子どもが地域で適切な支援を受けられるよう天王寺区内の児童発達支援事業所や相談支援事業所と連携し情報を共有しています。また、商店街や町会等地域の活動に積極的に参加し周囲とのネットワークを構築しています。			職員の質の向上		インリアル研究会の研修、感覚統合学会やLDセンター主催の講習会などへの参加、事業所内でのビデオ分析等を用いたケース検討、計画書会議に全員出席する中で子どもの特性を理解しかかわり方を共有する等具体的に学ぶ機会を多く作っています
主な行事等		個別の支援を主としているため行事などは行っておりません。					